

1. インターバンク市場

10/19~23の無担保コールO/Nは、付利金利を超える水準での調達ニーズは限定的であるものの、日銀付利金利との裁定取引ニーズを背景に、引き続き底固く推移した。当座預金残高が概ね240兆円台前半を中心に推移する中、大手行から週を通じて大玉条件の0.075%ビッドが見られ、地銀・信託からは0.075~0.078%のビッドが見られた。そうしたもとで、無担保コールO/N加重平均レートは概ね0.07%台半ばでの推移となった。ターム物は、大手行から1W物の調達が見られたほか、証券業態のロール案件が散見された。固定金利方式の共通担保オペは、22日に3M・8,000億円度でオファーされた。落札額3,331億円(期落ち分2,841億円)と、引き続き札割れの結果となった。

10/26~10/30のインターバンク市場は、財政等要因として26日のTB3M償還超過、29日の40Y発行が挙げられるが、1兆円を越える過不足日は無いと予想される。主要なイベントとしては、27~28日のFOMC、27日の英7-9月期のGDP速報値、29日の7-9月期の米GDP速報値、30日の金融政策決定会合、経済物価情勢の展望、9月の全国CPI、10月のユーロ圏CPIが挙げられる。

2. オープン市場

10/19~23の短国市場は、6M物や1Y物が短国買入オペを睨んで過熱感が強まる一方、3M物はマイナス圏ながらも落ち着いた展開が続いた。週初19日には短国買入オペが前回と同額の15,000億円度でオファーされ、平均落札利回較差+0.013% 按分落札利回り較差+0.008%と、6M物を中心に引値が低い銘柄が応札されたとみられる結果となった。9月11日オファー分から一社当たりの応札限度額がオファー額の半額となったにも拘らず、応札倍率が2.29倍と高く、業者の在庫処分が大きく進捗していないとみられ、6M物・1Y物は短国買入オペへの期待からか週を通じて過熱感が強い地合いが続いた。その一方、3M物は短国買入オペにおける需給悪化懸念から一部にレート上昇を予想する向きがあったものの、22日に実施された3M物入札は落札利回▲0.0044% 按分落札利回▲0.0037%と、玉確保のニーズが先行したことや円転地合いから海外からの積極的な購入ニーズも加わったことで、概ね事前予想通りの若干のマイナス圏での決着となった。セカンダリーでは在庫調整と見られる売りから▲0.002%で出合いが見られるなど小甘い展開となった。23日には今月最後と見られる短国買入オペが15,000億円度でオファーされた。落札結果は平均落札利回較差+0.009% 按分落札利回り較差+0.003%と堅調であった。

10/19~10/23のCP市場は、週間の償還総額3,100億円程度に対し、鉄鋼からの大型発行案件や、商社からのコンスタントな発行もみられ、発行総額は7,000億円程度となった。発行レートは、ディーラー・投資家の玉確保ニーズが底堅く、一部の銘柄では0.07%台を割り込む中、a-1格以上の銘柄では概ね0.08%を挟んだ出合いと、全体的に横ばい圏での推移となった。発行残高が伸び悩む中、CP等買入オペは19日に4,000億円度でオファーされた。GCレポレートの高止まりからCP現先金利も高めで推移していたことで、落札結果は平均落札利回0.076% 按分落札利回0.068%と前回比(平均0.071%・按分0.064%)で小幅上昇した。また、応落額は6,486億円と低調であり、足元の玉不足が反映される結果でもあった。

10/26~10/30の短国市場は、29日に3M物の入札が予定されている。翌30日に政策決定会合を控えているものの、地合いに変化は無く横ばいの結果が予想される。CP市場は月末発行となる28日を中心に発行が本格化する見込み。27日にはCP等買入オペが実施予定となっている。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で2,900億円程度の発行超見通し。財政等要因は、26日のTB3M償還超過、29日の40Y発行等があり、トントンの見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で2,900億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還は除く)の動きは次の通り。＜26日＞TB3M;償還51,000億円・発行48,000億円 ＜29日＞40Y;発行4,000億円/交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円

2015年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
10/26(月)	100	6,000	6,100	全店共通(固) CP買入 社債買入 短国買入 国債買入	Δ 2,800 Δ 700 Δ 100	3,300	Δ 300	5,800
10/27(火)	0	0	0			15,000 12,000	27,000	27,000
10/28(水)	0	0	0				0	0
10/29(木)	Δ 1,000	Δ 5,000	Δ 6,000				0	Δ 6,000
10/30(金)	Δ 2,000	Δ 1,000	Δ 3,000	CP買入		4,000	4,000	1,000
週 間 合 計	Δ 2,900	0	Δ 2,900		Δ 3,600	34,300	30,700	27,800

(注) 上表の10/26は日銀予想、10/27以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
10/26(月)			9月の米新築一戸建て販売件数
10/27(火)	9月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	40Y 4,000億円 10/29発行	交付税借入 10,500億円 11/5借入 米FOMC(1日目) 8月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 9月の米耐久財新規受注 10月の米CB消費者信頼感指数 7-9月期の英GDP速報値
10/28(水)	9月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50)		米FOMC(2日目)
10/29(木)	9月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50)	TB3M 48,000億円 11/2発行	交付税借入 10,500億円 11/12借入 7-9月期の米GDP速報値
10/30(金)	日銀政策委・金融政策決定会合 経済・物価情勢の展望 日銀総裁定例会見(15:30) 9月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 9月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 9月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 10月都都区・9月全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 9月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)		9月の米個人所得・消費支出 10月のシカゴPM景況感指数 10月のユーロ圏消費者物価指数速報値

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認いただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。